

間違いだらけの塾選び ～12の重大な間違い～

一木 康広

塾の選び方は間違いだらけ

学校の授業

家庭の学習

私は本来「勉強」は学校と家庭の2つの場所でやっていれば十分だと考えています。

そしてそういうことを私が言うと、

「じゃ、何で塾長さんは『学習塾』を経営しているの？」と聞かれます。

そして私はそのときには、

「受験があるからです」と答えています。

実際に心からそう思っています。勉強はある程度できればいいと思います。

「学校」は何もいわゆる「勉強」だけを学習する場所だとは思いません。

「学校」の存在意義は大人社会の縮図であればいいと私は思っています。

「勉強」だけやっていると子供が成長してからの大人社会での「人間関係」でトラブルを起こすケースが多くなると思います。

他人の心の痛みがわかる大人にならないといけないと思います。

「部活動」は人間関係を学ぶいい学習の場なので、一生懸命に取り組むべきだと思います。

それに副教科の「音楽」「美術」「体育・保健体育」「技術・家庭科」などもしっかりと学んだりするべきだと思います。

1人ひとりの人間にはいろんな「可能性」や「才能」が秘められているからです。幅広く学習することは自分探しの旅に出るようなものです。

現在「塾」に求められていることは最終的には「入試の合格」だと思います。

現時点ではそれ以外にはないと思います。

「合格」とは普段の学校での成績がだんだんと上がっていくにつれて「合格レベル」に達すれば誰でもできるものです。

だからこそ「塾」に入ったら、だんだんと成績が上がって行って最終的には「入試の合格」というものを勝ち取らないといけないという使命があるのです。「塾」は責任重大なのです。

そしてもう1人重大な責任があるのは「お母さん」たちです。

「お父さん」たちは会社の仕事で疲れきっているのです。

お母さんたちだって働いている人がほとんどなのは十分わかっています。家事だって毎日毎日のことで休みがなく、大変なことだと私は思っています。近所づきあいや学校の役員だってあるでしょう。子供のしつけもありますね。それでもあえて言います。

「お母さんたちの判断力に子供の未来がかかっているのです」

間違いだらけの塾選びをしているお母さんたちが意外と多いみたいです。

「間違いだらけの塾選び」をしないように私と一緒に塾の分析をしていきましょう。

これから12の塾選びのポイントをお教えするので参考にしてみてください。

キーワードは……、

「わが子に合った指導をしてくれるか？」

間違いだらけの塾選び

建物が立派で有名な塾なら安心だ

「あの塾は大きな建物だねえ」「有名な塾らしいよ」

はたしてその事実と、「わが子に合った指導をしてくれる」ということに何の関係があるのでしょうか？

何の関係もありません！

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

チラシが立派な塾なら安心だ

チラシがカラーで写真が多いとか、期待させるような気がするからといって、はたしてその事実と、「わが子に合った指導をしてくれる」ということに何の関係があるのでしょうか？

何の関係もありません！

チラシの構成が立派なのは制作者が上手だからです。立派なチラシはお金をかけて作ります。その分の広告費は月謝から出しています。

私個人はひんぱんにチラシを出す塾に対しては昔からいつもこう思っています。

「そんなにお金をかけることができるのなら、もっと教育方法や学習方法の

研究費にまわせばいいのに」

「チラシが立派だから」

そんな理由で塾選びをしないでくださいね。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

合格実績が立派な塾なら安心だ

立派な実績とは「他人の子」の実績です。わが子にあてはまるとは限りません。

さらに気をつけなければいけないことがあります。次のような場合です。

「合格30名！」の塾

「合格20名！」の塾

どちらが優秀な塾なのでしょうか？「合格30名！」の塾の方ですか？

実際はこうだったらどうですか？

「合格実績30名！」の塾（受験生50名）… 合格率 60%

「合格実績20名！」の塾（受験生20名）… 合格率 100%

わかっていただけますよね？ そしてどちらの塾だったにせよ、合格者数と「わが子に合った指導をしてくれる」ということに何の関係があるのでしょうか？

何の関係もありません！

「もしかしたら、うちに子も」という期待をお母さんたちが持つことはよくわかります。でも、「宝くじ」と同じような発想をしたら失敗するかもしれませんよ。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

教室がたくさんある塾なら安心だ

「教室がいっぱいだね。こんなにたくさんあるなら大丈夫だね」

何が大丈夫なのでしょう？

なにか「物」を販売しているお店がたくさんあるのなら「経営的に大丈夫」なことがあるかもしれません。「物」の販売だからです。

「物」ならば「同じ品質」のものを大量に生産できますからね。

どこのお店で買っても「物」は一緒です。「授業」は「物」ではありません。

それぞれの教室が全部「同じ品質」の指導をしていると思いますか？

「指導品質」は教室それぞれのはずです。各教室には教室長がいます。その人のカラーで運営しているのです。人が指導しているのなら、「あたりはず

れ」があるのが当然です。最初に見抜くことができますか？ その教室が「あたり」か「はずれ」かを。

人柄が良さそうな教室長だったとしましょう。

はたしてその事実と、「わが子に合った指導をしてくれる」ということに何の関係があるのでしょうか？

何の関係もありません！

「人柄」は「成績アップ」を保証してくれるものではありませんよ。

「人柄」と「指導力」には関連性はありませんよ。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

先生がたくさんいる塾なら安心だ

先生の場合は教室長よりもさらに「指導品質」に差がありますよ。それこそ「さまざま」です。

こんな説明を聞くこともありますよね。

「たくさん先生がいます。お子さんに合った先生が指導しますから大丈夫ですよ」

なぜ、大丈夫なのでしょう？

そもそもお子さんに合った先生とはどういう基準なのでしょう？

「指導力」のある先生に習いたいわけであって、「相性」とかまったく関係ないことのはずですよ。

「あの先生はきれい」「この先生はきれい」

その理由が何かが問題であって、それをただ単に「相性」の一言で子供が片付ける危険性があることを私は言いたいのです。

「あの先生の説明はわからないからいや」「この先生は不潔だからいや」
こういう理由なら私も納得いきますよ。

しかし、もしも、「(厳しいから)あの先生はいやだ」という場合はどうするのでしょうか？

見抜けますか？ 子供が言う「あの先生がいやだ」の本当の理由を。あるいは「あの先生が好きだ」の本当の理由を。

好きかきれいかを「相性」の問題だと子供が言い張ったらどうするのでしょうか？ 子供がいやだと言ったら担当変更ですか？ 「お客様第一主義」で担当変更ですか？ 「やさしい」先生が担当？

それとも「おもしろい」先生が担当??

いや「若くてカッコいい」先生???

いやいや「若くて美人な」先生????

私から言わせれば、「はぁ？何言ってるの？」ということです。

「相性」という言葉の裏にかくされている危険性を常に意識してください。

かりに「実力のある先生」に担当を替えてもらうのだとしましょう。

「だったら最初からそうしてよ」と私ならそのように思います。

それに何よりもまず、「実力のある先生」は非常に少ない！

1つの塾に10人の先生がいれば約2人くらいしか「トップレベル」の先生はいないと思います。あとの6人は普通レベル。残り2人は残念なレベル。

こういうことはどこの塾長でも知っている基本的なことです。

塾に限らずどこの会社でも同じことです。「2:6:2」の法則というものです。

有名な法則で経営者で知らない人はいないという法則です(…たぶん)。

では「トップレベル」の先生に生徒みんなが指導してもらえるのでしょうか？「トップレベル」の先生にこだわったら、残りの8人はいらんじゃないんですか？

たとえば悪いかもしれませんが学校の先生たちを考えてみてください。

「先生がたくさんいる」

はたしてその事実と、「わが子に合った指導をしてくれる」かもしれない「良い」先生に出会う確立は数が多くなれば変わるものでしょうか？

まったく変わりません！いつも20%の確率です。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

模擬試験を実施している塾なら安心だ

「試験」の意義は実践力がどのくらいあるかを測定することが最大のねらいです。

そういったことは普段の塾の授業の中で、ひんぱんに小テストを実施していればわかることです。

「大勢の中でやるからいいのだ」

もしそのように言われるのならば「学校」が実施する「学力テスト」や「統一テスト」はどうなるのでしょうか？

数で言えば「学校」のほうが「塾」より大勢での実施になるのでそちらのほうがいいということになりますよね。

小学生の場合は学校でそういう試験を行わないところが多いですから「塾」の模擬試験などを積極的に利用したほうがいいという面があります。

しかし、中学生や高校生の場合はそうだとは言い切れません。

テストはあくまでも「実力の測定」です。それは塾の授業時間にテストをすればわかりますよ。「模擬試験」はしょせん1つの「テスト」であってそれ以上でもそれ以下でもありません。

「模擬試験を実施している」

そうだからといって、「わが子に合った指導をしてくれる」ということは別に保証はしていません。**何の保証もしていません！**

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分の

レベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

月謝が高い塾なら安心だ

「月謝が高いのは授業の品質が高いからだろう」

はたしてそうでしょうか？

たとえば「家庭教師」を考えてみてください。

同じ時間の指導をしたら、普通に塾の月謝より高いのが家庭教師の月謝です。それは「授業品質」が「塾」より優れているからでしょうか？

そんなわけないですよ。アルバイトの大学生の家庭教師の授業が、プロの塾講師より上手な指導をするのでしょうか？

そんな可能性は低いですよ。

じゃあどんなわけで月謝が高いのかというと、先生1人に対して生徒が1人ということで月謝が高いというだけなのです。

家庭教師の場合は先生の「授業品質」が高いから月謝が高いのではなくて、「人件費」がかかるから月謝が高いのです。

では塾の場合はどうでしょうか。

塾の経営上の「経費」がどれだけかかっているかで月謝の価格は決められています。

建物が立派な塾は月謝が高いです。

チラシをよく出す塾は月謝が高いです。

先生が多い塾は月謝が高いです。

田舎にあるより都会にある塾のほうが月謝は高いです。

「集団授業」より「個別指導」のほうが月謝が高いです。

「経費」が余計にかかっている塾は月謝の設定が高いのです。

勘違いをしないように気をつけなければいけませんよね。

もちろん「授業品質」がいいから月謝が高いという塾もあるはずですが、その場合は納得できますよね。

ところで、

「月謝が高い」

そうだからといって、「わが子に合った指導をしてくれる」ことを保証してくれているのでしょうか？ **そういうわけではありませんよね。**

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

ベテランの先生がいる塾なら安心だ

私が独立する前に(アルバイトで)勤めていた塾に倉永先生というベテランの先生がいました。とにかく集団授業が上手で、ぐいぐい生徒の集中力を引き出すんですね。まさに名人芸でした。名人ですね、うん。

こういう先生は「あたり」ですね。

でもやはり成績が下の生徒にはかなり苦労しながら「授業後」とか「休み時間」に指導していましたね。

「集団授業」だとどうしてもこうなるのです。しかたないのです。

今の私でも「集団授業」をしると言われれば同じような指導になるでしょう。

しかし、全員にはこのような個人的な指導は時間的にできるはずがありませんよね。

「ベテランの先生がいる」

実際にそうだとすると、「わが子に合った指導をしてくれる」という保証がそのクラス全員にあるのでしょうか？

難しいと言わざるをえませんよね。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

友達が通っている塾なら安心だ

ここまで熱心に読んでくれているお母さんなら、もうおわかりですね。

「友達が通っている」、その事実と、「わが子に合った指導をしてくれる」ということに何の関係がありますか？

何の関係もぜ～んぜんありません！

最初に入塾するときに心強いとか休み時間に話せる相手がいるとかそういった心理的な安心感がありますよね。

「それが大事なんだよ」という場合もあるんでしょうけどね。

そうではないという場合はやはり次のことを実行することですね。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

成績がいい子が通っている塾なら安心だ

どうしてですかね？

お子さんの通っている学校には成績のいい子供が何人も通っていますよね？

だったら、「成績のいい子供が学校にいるので安心だ」

こういうふうになりますかねえ？ なりませんよね？

「成績の悪かった子供が良くなっている」

「成績の普通だった子供が良くなっている」

「成績のいい子供がさらに良くなっている」

これなら期待が持てる塾ですよ。

もともと成績のいい子供を入塾させて、

「自分の塾の生徒は成績がいいんですよ」

こういった作戦をとっている塾があることをご存知でしたか？

知りませんでしたか？

特に「大きな塾」がよくやる方法です。「成績のいい子をスカウト」するのです。

興味があれば、一度「大きな塾」に通っている塾生に確認してみてください。

やはりポイントは次のことですよ。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

間違いだらけの塾選び

自宅の近くにある塾なら安心だ

もう解説の必要はないような気がしてきました。(笑)

お母さんたちの「塾を見る目」はもうこの時点でさうとうレベルが高くなっているはずですからね。でも一応解説しますね。

「自宅の近くにある」

はい、「通塾するのには安心」ですね。

以上です。

「成績が上がる」とか「上がらない」とかは関係ない場合にはいいですね。

「成績が上がるだと？ 笑わせるな。そんなことは関係ないんだよ」

このような場合は「近い！」ということだけで判断することがベストです。

でも次のことは忘れないでくださいね。お子さんのためですよ。

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいということ。

間違いだらけの塾選び

個別指導をしてくれる塾なら安心だ

「安心だ」と思ったから、私は平成7年にこの指導方法を、一部私の塾に導入したのです。

ところが！！！！すごい落とし穴が8つもあったのです。

私がこのレポートで初公開します。

「誰も言わなかった」「個別指導」の8つの落とし穴！

いろいろなスタイルの個別指導がありますが、今回は「先生が1人に生徒が2人」という個別指導の欠点を解説しましょう。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その1 「理解力」 がつきにくい

【原因】

わからなくなったらすぐに横に座っている先生に質問するために、自力で考える力がいつまでたってもつかない。

【裏の原因】

お母さんたちが日ごろから子供に、「わからないところがあったら、すべて塾の先生に質問してくるのよ。高い月謝払っているんだから」と言い聞かせているので子供はよく考えもせずに先生に次々に質問していくため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その2 「実践力」 がつきにくい

【原因】

わからないところを教えてもらいに塾に来ているんだという意識が強い場合、塾では質問中心になりがちになる。

当然のごとく90分の時間では十分な練習問題を解くことはできずに質問と解答の写し書きで終わることが多くなりやすい。

【裏の原因】

「わからないところを教える」

ということが「個別指導」だと塾側も認識しているために問題の解き方を教えることに重点をおく指導をしている。

そして問題練習不足が生じている為。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その3 「指導時間」が少ない

【原因】

結局2人を90分で指導するという事は1人当たりの指導時間は単純に考えると90分の半分の45分ということになる。

【裏の原因】

実際は45分ずっと教えてもらえるはずもなく、先生としばしの雑談も指導時間に含まれていると考えられる。

できる問題まで解いている時間もあるので、「教えてもらうためだけ」に来ている子供からすると「できる問題をする」時間はまったくの無駄となるため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その4 「月謝が高い」

【原因】

先生1人分の指導時間の人件費を2人の生徒の月謝でカバーするシステムによる。

【裏の原因】

先生をたくさん確保しなければならない塾側は先生の「求人募集」の宣伝費が常にかかるため。

未熟な学生講師の「研修」を日々実行するのにいろいろと費用がかかるため。

月謝を高くすることにより、ブランドイメージを高めようとする塾側の戦略によるため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その5 「入試5教科の指導を頼みにくい」

【原因】

1教科でいくらという月謝設定により、5教科の指導を仮に頼むと合計でびっくりするような高い月謝になる。

【裏の原因】

「数学」ができる講師求む。

「英語」ができる講師求む。

などと塾側は「求人募集」していることが多い。

そのほうが大学生が集まるからである。

塾側も全教科指導できますよと言いながらも実際は英語・数学・理科中心の講師をそろえている。

理由は1教科だけ指導してもらいたいというときは「英語」「数学」もしくは「理科」ということが多いからである。

確保している講師の数の問題もあり、5教科の指導を全面的には打ち出さないようにしているため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その6 「夏期講習料金が異常に高くなる」

【原因】

夏休みの期間は5教科の総復習をするのにはいい時間なので学習時間を確保したい。しかし個別指導は1時間当たりの授業料がいくらと決まっているので指導時間を増やすとすごく大金になる。

【裏の原因】

募集チラシがカラー写真である上に「イメージ広告」でモデルや有名人をチラシにのせたりするので多大な広告費用がかかるため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その7 「指導品質がバラバラ」

【原因】

基本的にベテランの講師というよりも学生講師が多いためにどうしても未熟な指導をしがちになる。

【裏の原因】

「おじさん・おばさん講師」よりも「若いお兄さん・お姉さん講師」のほうが子供に年齢が近くて人気がある。

塾としては指導経験が浅くても若い学生講師を多く確保することが生徒募集にいい影響を与えることを知っているため。

「個別指導」の8つの落とし穴！

その8 「指導する先生がよく替わる」

【原因】

個別指導の塾は「欠席の振り替え」ができるので塾生も気楽に休みがちだし親もまた気楽に休ませがちになる。

そのため塾のほうは学生講師のスケジュール管理に追われいろいろな先生が交替で休んだ生徒の振り替え授業の対応をすることになる。

【裏の原因】

個別指導は学生講師が中心のシステム。

多くの学生は「自分の本業」や「遊び」あるいは実家に帰省するなど

いう「プライベートな部分」を大事にする傾向があり、自分の都合に合わせて塾講師の「バイト」をしたいと思っているので欠勤が多くなるため。

なぜ間違いだらけの塾選びをしてしまうのか

外食をするときのことを考えてみてください。

ケース1（良い場合）

一度行ってみて、「おいしいな～、ここのお店」となればまたそこのお店には行きますよね。

ケース2（悪い場合）

一度行ってみて、「まずいな～、ここのお店」となればもう二度とそこのお店には行きませんよね。

ケース3（普通の場合）

一度行ってみて、「まあ、普通かな・・・」となればまた行くかもしれないし行かないかもしれませんよね。

「塾」も同じように考えてみましょう。

お母さんたちのお子さんが通っている塾はおそらく「ケース2」（悪い）ではありません。「ケース2」（悪い）だったらその塾をとくにやめているはずだからです。

もし、「ケース3」（普通）だったらどうでしょうか？多分やめませんよねその塾

を。

理由の一つはですね、そのような塾の先生に限ってお母さんたちに非常に愛想よく接しているからです。

子供を送り迎えしたりするときになぜか塾の前に先生が待機していて、「どうも、お疲れ様です！」というふうに親しげにしかもにっこりと笑ってお母さんたちに声をかけてきます。これでは心理的にその塾をやめにくくなります。塾の作戦の一つですけどね。

「ケース1」(良い)の塾ならいいですけど、「ケース2」(悪い)の塾でも平気でこれをやっているところもあります。

「そんなところに突っ立っていないでさっさと授業の準備をしたら？」

私はいつもこの光景を見るたびに思います。

ところで、「ケース1」(良い)の塾の存在を知ったらお母さんならどうしますか？

子供のために「ケース3」(普通)の塾をやめて「ケース1」(良い)の塾に通わせようと思いませんか？ そうしたほうが子供のためだと思います。

実際は「ケース1」(良い)の塾は少ないかもしれません。

でもきっとどこかにはあるはずですよ。近くにあるかもしれません。ないかもしれませんがね。

私の意見を言わせてもらいます。

塾があればどんどん「体験入塾」をしてもらいたいのです。

どこかの塾に通っていても「別の塾」をのぞいて見たっていいじゃないですか。「おいしいお店」なら探すでしょう？「食べ比べ」しましょうよ、「塾」を。

なぜ、「塾」をひとつおり「体験」しないままどこかの塾に入るのですか？

「口コミ」で入塾を決定するのですか？

それよりも、「実際に塾の授業を体験してみる」ことのほうが間違いありませんよ。「無料体験授業」をしている塾は多いはずですよ。

どの塾も「自信」があるんですよ。その「自信」を体験してみてください。まわりの塾を全部「無料体験」してみてください。

「塾」のランク付けをしてみてください。面倒くさがらずにしてみてください。勇気出してやってみてください。「こんないい塾があったなんて」ということが起きるかもしれませんよ。起きないかもしれませんが。(笑)

「今現在通っている塾」のすばらしさを再認識するだけかもしれませんね。

そうになったらきっと子供はますます今の塾が好きになるので塾をさらに信頼して成績がぐ~んと上がると思いますよ。

大事なことは

「体験授業」を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

最後になりましたけど、お母さんたちへ、
「本物の塾を探してあげてください」
子供の輝ける未来のために。